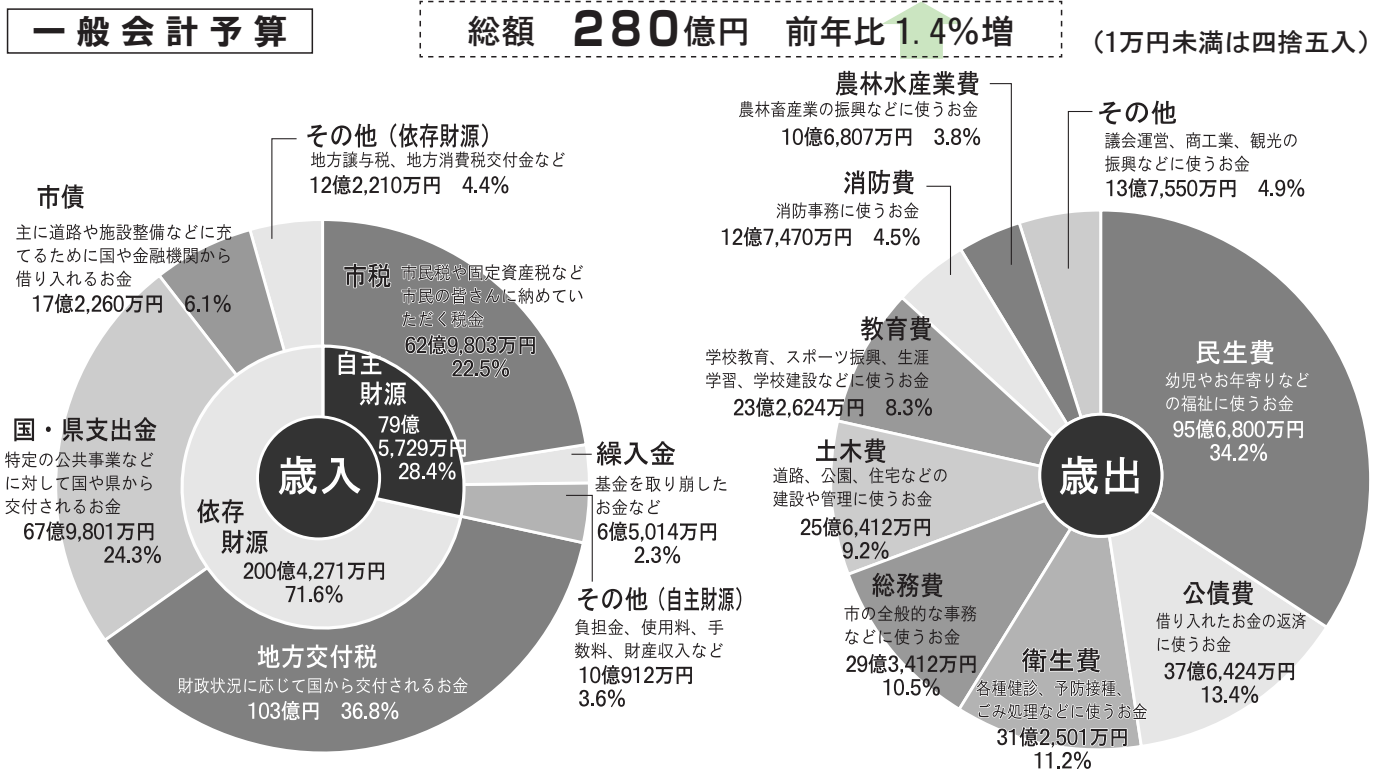


# 総額 583億6,620万円

～ 一般会計に特別枠2億円を盛り込み、農業振興、低炭素社会の実現、元気な十和田市の実現に取り組む ～



各特別会計・企業会計の予算		※企業会計は収益的収支と資本的収支の合計額です。	
国民健康保険事業特別会計 <b>75億9,917万円</b> 前年度比 6.1%増	地方卸売市場事業特別会計 <b>2,125万円</b> 前年度比 0.0%	後期高齢者医療特別会計 <b>5億604万円</b> 前年度比 2.0%減	介護保険事業特別会計 <b>57億3,251万円</b> 前年度比 1.9%増
温泉事業特別会計 <b>2,733万円</b> 前年度比 13.4%減	水道事業会計 <b>26億6,399万円</b> 前年度比 1.3%増	下水道事業会計 <b>44億4,513万円</b> 前年度比 0.9%減	病院事業会計 <b>93億7,078万円</b> 前年度比 0.4%減

今回の予算案は特別枠に農業後継者対策や住宅リフォーム助成事業など評価できる部分もあるが、土木事業費関連経費と比較するとスケールが余りにも小さ過ぎると思う。多くの市民は高い国保税や介護保険料を払えず、何とか低くしてほしいと訴えている。道路などの環境整備も大切なことではあるが、優先順位が違っていているように思う。

国保税や介護保険料は高いが、介護施設が多いことは老後にとって大変安心なことであり、それを逆手にとり、お年寄りが安心して住みやすいまちにすることも可能であると思う。若者が流出する中で、この老人力を生かすべきである。

国の方針のままに国保税や介護保険料を高くすることをやめ、予算の優先順位を考え直し、思い切った一般会計からの繰り入れを増やすことが求められていると思う。

以上のことから、今回の一般会計予算案に反対するものである。

**反対**

**討**

このように、本予算案は現在と将来をしっかりと見ているバランスがとれたものであり、厳しい財政状況にあっても、市債の残高を減らし、次の世代へ負担を先送りすることがない予算案になっている。「元気な十和田市」の実現に向け、着実に取り組みが進むものと評価する。

**論**

**賛成**